

令和3年度 事業計画・収支予算

—事業方針と計画の概要—



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 中長期的な事業方針・目指す方向性

VISION
日赤150

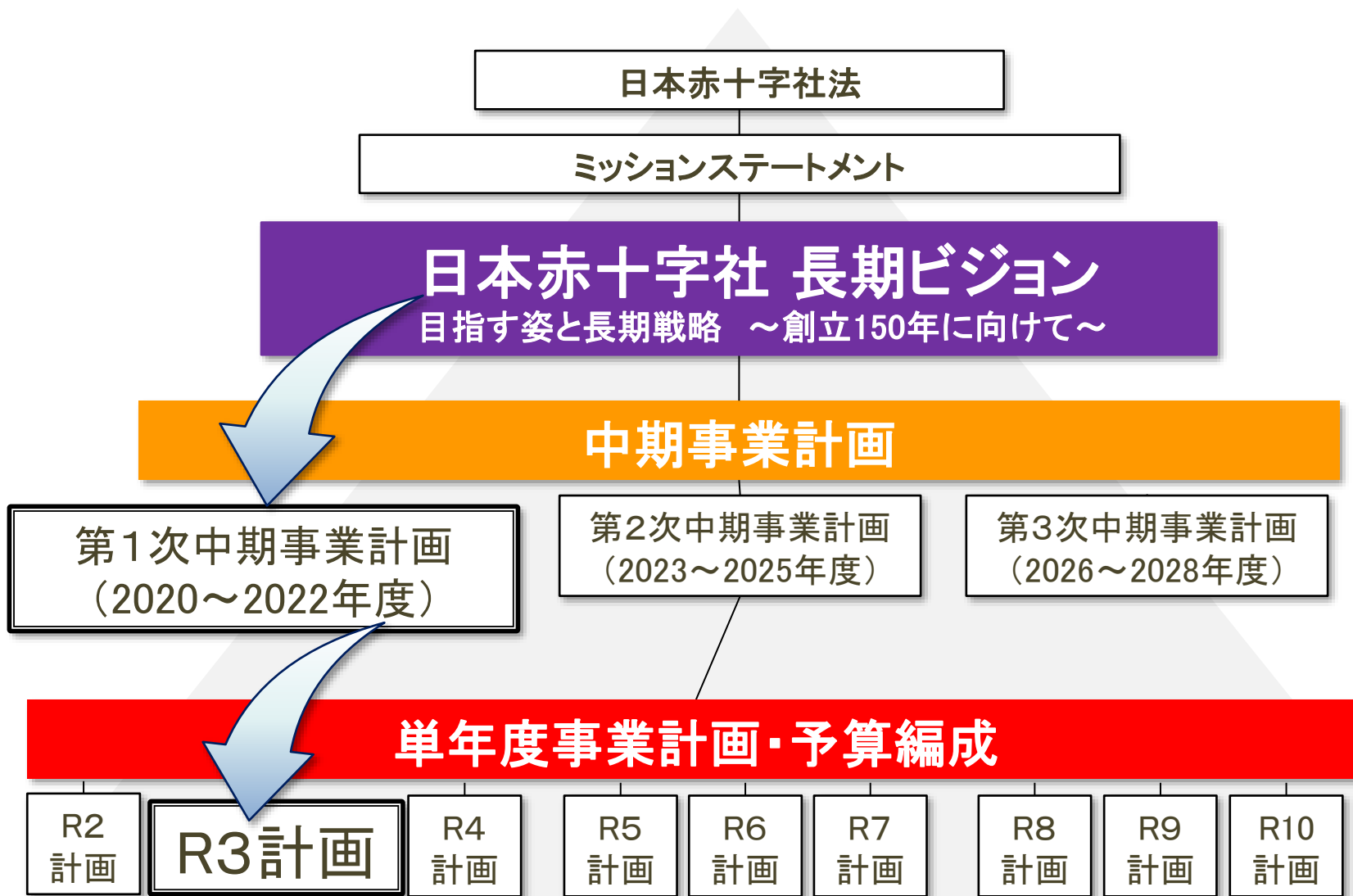
「長期ビジョン」
令和2年度(2020年)よりスタート

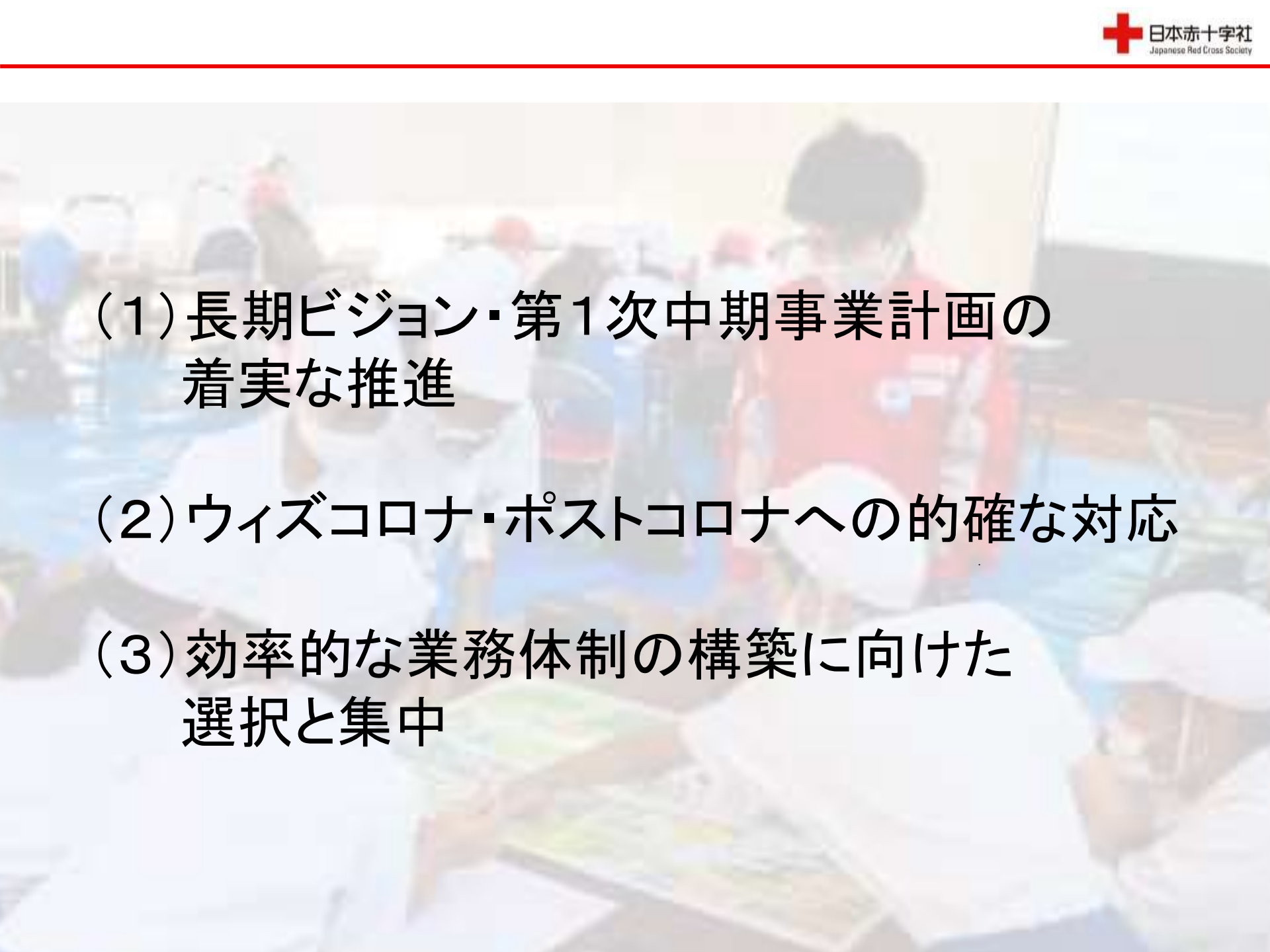
創立150年に
目指す姿

日本赤十字社が重点的に取り組む社会課題

災害や紛争から人々が守られる社会づくり
人々の健康・福祉を支える地域づくり
互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

2. 令和3年度事業計画策定にあたって



- 
- (1) 長期ビジョン・第1次中期事業計画の
着実な推進
 - (2) ウィズコロナ・ポストコロナへの的確な対応
 - (3) 効率的な業務体制の構築に向けた
選択と集中

ウィズコロナ・ポストコロナへの的確な対応



患者受入れ
体制の充実化

感染管理体制
の強化

感染対策
資機材の
確保

オンライン化の
推進





コロナ禍における
必要血液量の確保



感染症対策



講習等における
オンラインの活用



3. 【救護・社会活動】

長期ビジョン・第1次中期事業計画

災害や紛争時における支援の充実とレジリエンスの強化

- 感染症まん延下における救護活動の体制整備
- 国内事業と国際事業の融合による新たな活動の推進

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求

- 一医療・福祉・介護分野等における地域社会への貢献
- 自助・互助のしくみが根付いた地域づくりへの貢献

多様化が進む社会における人道の輪の拡大

- 教育現場から選ばれる青少年赤十字活動の普及・継続

長期ビジョン・第1次中期事業計画

会員の赤十字運動への参画促進

○多様な寄付機会の提供による会員募集・社資確保

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

○支部指導講師等を中心としたボランティア主体の活動支援

国際赤十字との更なる協働

○国際赤十字・赤新月社連盟総会等における提言

4.【社会福祉事業】

長期ビジョン

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求
—医療・福祉・介護分野等における地域社会への貢献

第1次中期事業計画

○社会福祉施設を通じた地域への福祉サービスの向上

- 新たな人材確保対策の立案及び職員の研修体制の構築
- 奉仕団等ボランティアの活動範囲の検討及び事業運営への参画促進
- 地域ニーズの再確認及び地域貢献活動の方向性の明確化

5.【医療事業】

長期ビジョン

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求
—日本最大級の病院グループとしての質の高い医療サービスの提供

第1次中期事業計画

- ウィズコロナ時代に適合できる病院の環境整備
- 地域医療構想への積極的関与
- 医療救護体制の強化
- 地域包括ケアシステムに対応できる人材の育成
- 医療の質の向上と経営の安定化
- 赤十字の理念を実践できる看護師の養成

6. 【血液事業】

長期ビジョン

超少子高齢社会における地域の健康・安全な生活の追求
—世界最高レベルの血液事業を通じた医療・健康増進への貢献

第1次中期事業計画

- 「新しい生活様式」に対応した必要血液量の安定確保、
新型コロナウイルス感染症治療への協力
- 献血の意義と社会への貢献が実感できる広報展開
- 効果的に献血協力依頼を行う仕組みの確立
- 輸送体制の合理化と利活用
- 血液製剤の安全性と品質の向上
- バイオリソース・ビッグデータの活用を通じた国民の健康
増進への貢献

7.【コーポレート部門】

長期ビジョン

ガバナンスの強化、多様な人材の確保と育成の強化、組織の活性化、コンプライアンスの強化、広報の強化 等

第1次中期事業計画・令和3年度事業計画

- 将来の事業実施体制にかかる長期戦略の策定・実施
- 全社的な内部統制と監査機能の強化
 - リスク評価を含む内部統制の強化、内部監査機能の充実化
- より適切な人事関連諸制度の再構築
 - 人材確保・育成の充実、働き方改革の推進
- 長期ビジョンの達成に向けた職員の意識・社内風土の醸成
- 全社的なコンプライアンス推進、危機管理能力の向上
- 広報の強化
 - 全国テレビCM実施を含む「統合デジタルマーケティング」の実施

8. 令和3年度収支予算の概要

総額 1兆3,722億円
(歳出予算の合算)

